

郡上市の鳥獣被害対策

郡上市農林水産部

郡上市の鳥獣被害の状況について

調査結果の概要

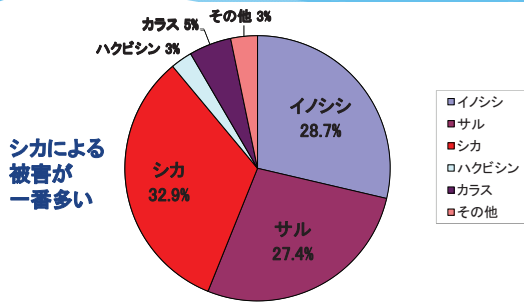
地域別被害額

(単位 円 : %)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	対前年比
八幡地域	26,814,228	45,609,524	11,044,966	16,414,764	148.6%
大和地域	8,898,271	13,789,570	6,659,161	6,991,227	105.0%
白鳥地域	43,569,148	20,984,599	4,085,844	4,471,768	109.4%
高鷲地域	12,411,177	16,115,515	3,668,399	4,967,630	135.4%
美並地域	6,289,186	9,924,800	4,593,751	11,215,388	244.1%
明宝地域	5,644,441	14,856,969	5,670,944	10,204,348	179.9%
和良地域	2,678,858	8,271,957	2,356,578	12,189,236	559.7%
被害総額	106,304,509	129,552,934	38,079,643	67,454,361	177.1%

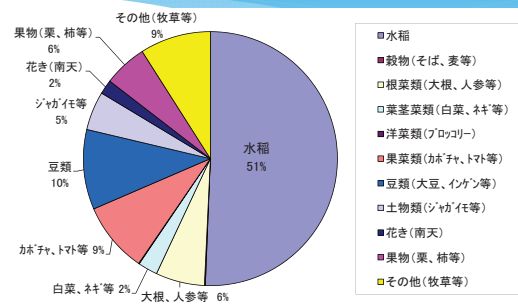
郡上市の鳥獣被害の状況について

【平成24年 鳥獣別被害割合】



郡上市の鳥獣被害の状況について

【平成24年 作物別被害割合】



郡上市の鳥獣被害の状況について

イノシシによる踏み荒らし(水稲)



郡上市の鳥獣被害の状況について

イノシシによる踏み荒らし(飼料用トウモロコシ)

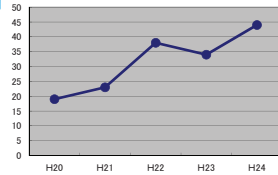


郡上市の鳥獣被害の状況について

生活圏への侵入

シカとの衝突事故の発生(郡上署管内、届出分のみ)

地域	H20	H21	H22	H23	H24	H25.5
八幡町	10	12	25	21	24	4
天和町	0	0	0	1	0	0
白鳥町	1	0	0	0	1	0
高箕町	0	2	2	1	1	0
家並町	1	2	1	0	2	1
明宝	2	4	6	1	4	5
和良町	5	3	4	10	12	2
合計	19	23	38	34	44	12



- ・国道256号線、国道472号(せせらぎ街道)での衝突事故が多い
- ・現在は物損事故(車両の破損)で終わっているが、シカとの衝突を避けるために ハンドル操作を誤って人身事故になる可能性がある
- ・届出分のみであり実際は倍以上の事故が発生していると思われる。

郡上市の鳥獣被害の状況について

農作物以外の被害

交通事故



- ・午後6時から午前2時ごろまでの事故が多い
- ・スピードを落とし、注意して走行していてもいきなり飛び込んでくるため避けることができない

郡上市の鳥獣被害の状況について

農作物以外の被害

庭木への被害



- ・庭先をシカが行きする
- ・庭木の食害が発生
- ・首の届く範囲の葉を食べ、キノコのような型となっている

恒久柵(防護柵)の設置

平成24年度:国鳥獣被害防止総合対策事業

- * 平成24年度は①八幡町河鹿地区、②明宝小川・奥住地区
③和良町上沢地区、④和良町下土京地区で恒久柵を設置

地域	事業主体	事業量 (設置距離)	事業費 (資材費)	補助金額 (国・市)
八幡	河鹿二区集落協定	2,308m	4,735,500円	4,369,000円
明宝	明宝地区鳥獣害防護柵管理組合	810m	3,296,381円	2,637,000円
和良	上沢集落協定	383m	546,499円	504,000円
和良	下土京集落協定	2,134m	2,604,262円	2,403,000円
合計		5,635m	11,182,642円	9,913,000円

恒久柵(防護柵)の設置

鳥獣被害防止総合対策事業

- 事業主体:河鹿二区集落協定(八幡町) 2,308m
- 柵高:2m タイトクロスフェンス(金網柵)
- 事業費:4,735,500円(2,051円/m)



恒久柵(防護柵)の設置

鳥獣被害防止総合対策事業

- 事業主体:下土京集落協定(和良町) 2,134m
- 柵高:2.3m ワイヤメッシュ+アニマルネット(猪鹿無猿柵)
- 事業費:2,604,262円(1,220円/m)



郡上市内恒久柵(防護柵)設置箇所図 平成14年度～平成25年度

9年間で約2億円を投資し、53.6kmの恒久柵を設置

年度	設置距離(m)
14	6,612
15	7,077
16	3,949
20	3,849
21	3,000
22	3,000
23	7,148
24	5,635
25(計画)	13,330
合計	53,600

総事業費		198,010,335 円
財源	国補助	114,153,000 円
	県補助	4,783,000 円
	市補助	63,761,000 円
	自己負担	15,313,335 円



有害鳥獣対策地域力支援事業

郡上市単独事業

1. 地域で実施する簡易な防護柵(資材費)に対する補助金
2. 地域ぐるみで実施する防除対策に対する補助金

事業内容	助成額	備考
(1)電気柵	資材費 250円/m上限	100円/mまで実費補助 101円/m～1/2補助
(2)電気柵以外の防護柵 (ネット・ワイヤーメッシュ等)	資材費 100円/m上限	100円/mまで実費補助
(3)地域ぐるみの防除対策	事業費の1/2、10万円上限	捕獲檻・爆音機の購入等



有害鳥獣対策地域力支援事業

郡上市単独事業

平成24年度実績



(1)防護柵

内容	設置箇所	事業量(m)	事業費(円)	補助金額(円)
電気柵	49	13,497	4,510,175	2,336,000
電気柵以外の柵	5	585	145,728	37,000
合計	54	14,082	4,655,903	2,373,000

(2)柵以外の防除対策

内容	実施箇所	事業量(基)	事業費(円)	補助金額(円)
捕獲檻	4	10	558,277	257,000

有害鳥獣対策地域力支援事業

郡上市単独事業

10年間で約1.1億円を投資し、321.2kmの獣害防止柵を設置

年度	設置距離(m)		合計(m)	総事業費		
	電気柵	その他の柵		市補助	自己負担	合計
16	36,901	9,737	46,638			109,478,074 円
17	54,676	6,867	61,543			57,058,001 円
18	23,860	1,380	25,240			
19	28,118	795	28,913			
20	23,118	1,841	24,959			
21	25,541	2,089	27,630			
22	21,236	2,533	23,769			
23	37,461	4,520	41,981			
24	13,497	585	14,082			
25	23,200	3,000	26,200			
合計	287,608	33,647	321,255			



モンキードッグ育成事業

郡上市での事業経過

平成22年度に訓練施設視察、講演会、デモンストレーションなどを実施し調査研究を進める

- 平成23年度にモンキードッグを2頭育成し平成24年3月より追い払い開始
- 平成24年度は8月～3月にかけて3頭を訓練
- 平成25年3月21日に認定証を交付。全5頭のモンキードッグにより追い払いを実施中



モンキードッグ育成事業

地域ぐるみの獣害対策講座

モンキードッグ現地訓練



飼い主、犬の負担を軽減するために、地域住民の理解と協力が
必要。実際に育成訓練を行う訓練士から、モンキードッグを活用
した地域ぐるみの獣害対策について説明を行い理解を深める。

交通事故防止

シカとの衝突注意看板の設置

郡上市内の衝突事故の約8割が発生している2ヶ所へ4枚の看板を設置



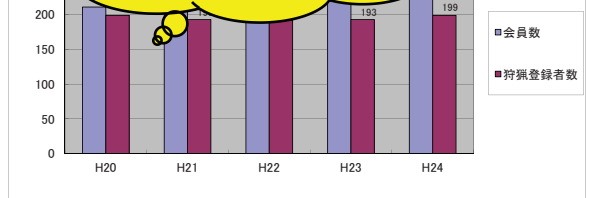
国道256号線(下呂市方面)



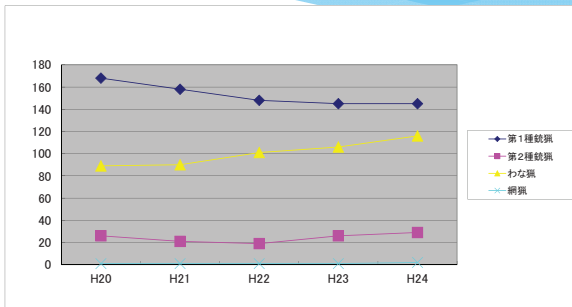
せせらぎ街道(高山市方面)

郡上市猟友会 会員数の推移

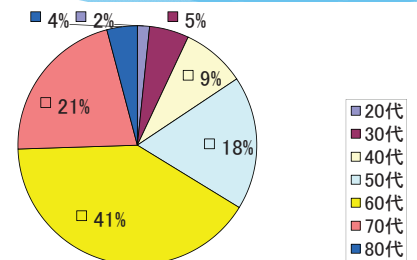
従来の趣味としての狩猟を行わず、有害鳥獣捕獲のみを行う人が増えた。



狩猟登録(種類別)の推移



郡上市猟友会 年代別構成



有害鳥獣捕獲奨励金事業

郡上市単独事業

市が委託した駆除隊(猟友会)に捕獲奨励金を交付し、有害鳥獣捕獲を実施。

- 平成24年中にイノシシ、ニホンザル、ニホンジカなど1,346頭を捕獲

◆H24年(4月～3月捕獲分)◆ (単位:頭)

鳥獣名	八幡	大和	白鳥	高鷲	美並	明宝	和良	合計
イノシシ	116	79	69	84	11	42	58	459
ニホンザル	110	3	1	0	41	38	52	245
カラス	11	19	81	13	0	4	15	143
ニホンジカ	201	24	19	4	12	40	190	490
ヌートリア	0	0	0	0	6	0	0	6
カワウ	0	0	0	0	0	0	3	3

ニホンジカ捕獲事業

平成24年度事業(県の「清流の国ぎふ森林環境基金事業を活用」)

- * H24年度新規事業。
- * ニホンジカによる被害が増加しているため、狩猟期間中に『捕獲奨励金(オス5,000円、メス10,000円)』を交付し、個体数調整を実施。
- * 捕獲期間:H24.11.15～H25.3.15

捕獲実績(郡上市内)

オス	448頭
メス	622頭
計	1,070頭

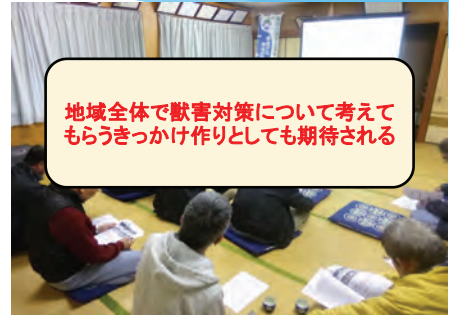


野生生物生息・生態調査事業

平成24年度事業(県の「清流の国ぎふ森林環境基金事業を活用」)

- 野生生物の目撃情報が多い箇所にセンサーカメラを設置し、生息生態調査を実施。
- 鬼谷地区(八幡)、大間見地区(大和)、梅原地区(美並)、大谷地区(明宝)、法師丸地区(和良)の5箇所に設置。
- 設置期間:H24.9.28 ~ H25.2.15
- 設置地区にて地元報告会を行い、調査結果の報告や今後の対策等について検討した。

報告会の様子(八幡町鬼谷地区)



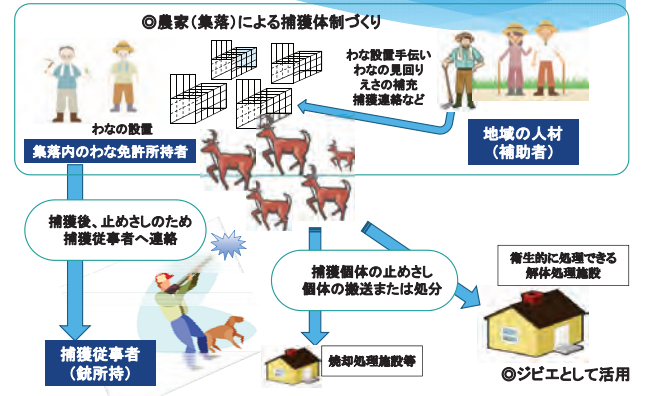
地域全体で獣害対策について考えてもらうきっかけ作りとしても期待される

わな補助者の活用

- * 地域ぐるみの捕獲体制づくりの一環として、わな補助者の活用を推進。
- * 24年度末に「わな補助者講習会」を行い、25年度当初より79名がわな補助者として有害鳥獣捕獲活動(わな)の補助を行っている。

※わな補助者・・・わな免許を所持していなくても、市の講習会を受講すれば、見回り・エサ補充などの補助作業を行うことができる。

捕獲従事者と地域の人材との連携による新たな捕獲体制のイメージ



わな補助者講習会の様子

最終的には

狩猟免許を所持していない者が、「補助者」として、有害鳥獣捕獲にかかわる事をきっかけに、免許所持者が増加することが期待される

平成25年度は補助者から7名が狩猟免許を取得。

新しい取り組み

いままで(農家は守るだけ)

電気牧柵、ネット柵を設置する(自分でもやる)

被害が減らない

どうしよう? 駆除してもらおう

人任せ

打つ手なし

猟師の人数が減っている 駆除しきれない

被害が減らない

新しい取り組み

これから(守り+攻め)

電気牧柵、ネット柵を設置する(自分でやる)

被害が減らない

どうしよう? よし駆除しよう

自分の農地を荒らす獣は
自分で駆除する

農家自らが
狩猟免許を取得

わな補助者

あきらめない

農地を柵で守って
駆除で攻める

これからの対策

- * 個人ではなく、みんなで
- * 筆ごとではなく、団地で
- * 常に新しい情報を
- * 施設の管理はしっかりと
- * あきらめない

向こう(獣)は命がけでやってきます。
人も作物、地域を守るために必死に対処が必要です

ご清聴ありがとうございました

郡上市農林水産部